

令和3年度版 中学校書写教科書

現代の書写



編集の
趣旨と特色

三省堂

社会生活に生きる書写の力

令和3年度版

『現代の書写 一・二・三』の特徴

- 1 **ひとめでわかる学習内容**……………p.4
- 2 **ポイントの明確化「書き方を学ぼう」**……………p.6
- 3 **ふだんの文字に生かす「書いて身につけよう」**……………p.8
- 4 **豊かな文字文化にふれる**……………p.10
- 5 **小学校書写との連携、高等学校芸術科書道への接続**……………p.12

- 「現代の書写 一・二・三」学習内容一覧……………p.14
- 国語教科書との連携……………p.16
- ユニバーサルデザインへの取り組み……………p.18
- デジタル教科書・指導書・教材のご案内……………p.20
- 検討の観点と内容の特色……………p.22

ウェブサイトでは
特徴を動画で
ご紹介しています。




この教科書の学習の流れ

この教科書は、次のような流れで学習するしくみになっています。
自分の文字をよりよくして、生活の中で生かせるように、学習を組み立てました。

社会生活に生きる 書写の力



学習を何度も繰り返す
ことで力がつきます。



自分の文字をよりよく
するために

① 学習したことを自分の文字に取り入れる。



② 相手や目的・場面を考えて書く。



③ 文字文化への理解を深める。



1 ひとめでわかる学習内容

学習の見通しをもち、主体的に学習を進め、次の学びへの意欲が得られるように構成しました。

●各教材を見開きで構成し、全ての教材に学習目標と振り返りを設置しました。
●教材冒頭の「書き方を学ぼう」では、書き方のポイントを取り上げ、各教材で学習すべき内容がひとめでわかるようになっていきます。

① 目標を確かめて学習の見通しをもつ。

② 書き方のポイントをつかむ。↓ p.6へ

③ 書き方のポイントが、他の文字ではどこに使われているか考える。



④ 書き方のポイントを意識して毛筆で書く。

⑤ 教材で学んだことを振り返る。

⑥ 硬筆で繰り返し書いて、学びを確かなものにする。↓ p.8へ

⑦ 単元を通して学んだことが実際に活用できているかを確認し、自分の言葉でまとめる。

さまざまなタイプの書き込みページがあります！

1年p.44書いて身につけよう
「点画の丸み／点画の連続／点画の形や方向の変化」

2 ポイントの明確化「書き方を学ぼう」

日常生活・社会生活の中で活用できる
書き方のポイントがひとめでわかります。

「どこに気をつけて、どのように書けばよいか」という書き方のポイントを、
具体的な字形例とともに10種類示しました。

- ### 楷書
- 1 字形の整え方と筆使い
 - 2 仮名の字形と筆使い
 - 3 文字の大きさと配列

- ### 行書
- 1 点画の丸み
 - 2 点画の連続
 - 3 点画の形や方向の変化
 - 4 点画の省略
 - 5 筆順の変化
 - 6 行書と仮名の調和
 - 7 行書に調和する仮名

書き方を学ぼう【行書】 ⑤筆順の変化

楷書と筆順を変えて書くことで、移動の距離を短くしたりリズムをつけたりする。

2年 p.52 「筆順の変化」

楷書・行書
どちらの教材にも
設けています！



1年 p.26 「仮名の字形と筆使い」

書き方を学ぼう【楷書】 ②仮名の字形と筆使い

③文字の大きさと配列 ④仮名の字形と筆使い ⑤字形の整え方と筆使い

結び 穂先を小さく返す。
回転 穂先を返しながら大きく回す。
曲がり 筆圧を弱めてゆっくり書く。
折り返し 来た道に戻るように折り返す。
そり 穂先が左端を通るように一定の速さで書く。



巻末には一覧（折り込み）も
あります！

資料編 p.125 「書き方を学ぼう」一覧

「書き方を学ぼう」一覧

楷書

行書

探究

書き方を学ぼう【行書】 ③点画の形や方向の変化

具体的な書き方のポイントを言葉と図で解説

楷書と行書の違いを比較

形の変化 次の画へ速く向かうように書く。

方向の変化 前の画を受けた後、次の画へつながりるように書く。

書き方を学ぼう【行書】 ③点画の形や方向の変化

探究

1年 p.42 「点画の形や方向の変化」

他の文字ではどこに書き方のポイントが使われているか考える

3 ふだんの文字に生かす「書いて身に付けよう」

学習したことを、多様な「書く」場面で主体的に活用する力をつけることができます。

●毛筆で書いて習得したことを、他教科の学習や日常生活・社会生活でも活用できるように、硬筆による書き込みページを全10教材分設けました。

楷書

- 字形の整え方
- 仮名の字形
- 文字の大きさと配列

行書

- 点画の丸み
- 点画の連続
- 点画の形や方向の変化
- 点画の省略
- 筆順の変化
- 行書と仮名の調和
- 行書に調和する仮名

「書いて身に付けよう」基本の流れ

まずはなぞり書きで練習
↓
自力で繰り返し書いて練習

毛筆で書いた字を硬筆でも練習

基本は4ページで1セットです

学習したことを活用したり自分の言葉でまとめたりして学習を振り返る

1年p.44「点画の丸み／点画の連続／点画の形や方向の変化」

1年p.32「仮名の字形／文字の大きさと配列」

横書きの練習や、
原寸大はがきに宛名を
書く練習もできます！

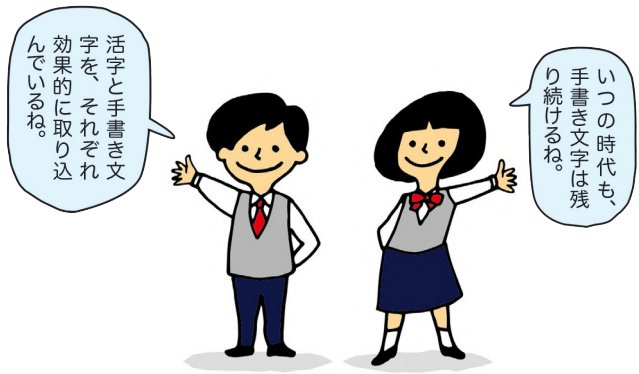
2年p.56「点画の省略／筆順の変化（四十七都道府県名）」
▶学習指導書にワークシートを収録しています。

振り返り内の課題は、
全国学力・学習状況調査等を
ふまえて設定しています！

4 豊かな文字文化にふれる

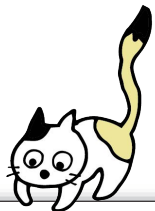
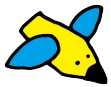
文字文化の担い手として、文字を手書きすることの意義を見つめ直す教材を設けました。

- 現代まで続く文字の歴史や文化を取り上げました。
- 3年の教材では、手書き文字の魅力を伝え広めながら社会で活躍する人物を紹介しています。



1年 p.34 「文字の変遷」

▶ 文字の成り立ちを、流れを確認しながら学習できます。



1年 2 仮名の字形と筆使い

いろはにほへと
ちりぬるを
わかよたれそ
つねならむ

書き方を学ぼう【動画】 仮名の字形と筆使い

ひとのよ

1年p.26
「仮名の字形と筆使い」

2 ここで紹介する二人の達人は、文字に関わる仕事についている。それぞれの達人が大切にしている「文字」の魅力はどのようなところか、話し合おう。

達人
活字風の文字を手書きする
看板職人(大阪)
上林 修さん
かんばやし しゅう

上林さんは、商店や駅の看板などに手書きでさまざまな文字を書く。「読みやすさ・美しさ・速さ」を意識して書き続けている。

達人
手書き風の活字を生み出す
タイプデザイナー(東京)
西塚 涼子さん
にしづか りょうこ

西塚さんは、数々の書体の設計に関わる、書体の生みの親。明朝体、ゴシック体などいろいろなスタイルで書体を作っている。

3 ここまでの学習を振り返りながら、効果的に文字を書くことについて考えよう。

1 身のまわりの生活の中から印象に残った文字の表現を探そう。

2 それらの文字の工夫や効果を考えよう。

3 今後、自分自身が文字を書く「インパクト」の仕方に関わっていかか考えよう。

手書きの看板には温かみがあります。年月が経ち色あせてきてもまた、よい味が出ます。特に温泉街や商店街、観光地などの看板や、ローカル線の看板など、手書きこそ魅力がアツプするものは、実はとても多いのです。

はじめまして、多摩美術大学のPaint!でも普段絵を描くことが多い私たち美術大学生もらう機会はありません。完成した画面で見ると、

手書きの看板には温かみがあります。年月が経ち色あせてきてもまた、よい味が出ます。特に温泉街や商店街、観光地などの看板や、ローカル線の看板など、手書きこそ魅力がアツプするものは、実はとても多いのです。

大量の文字も一字ずつ丁寧に書いていく。

駅の看板も手書きで書く。

書体も一字ずつ手作りされています。手書き文字が人ごとに異なるように、書体のデザインも多様です。手書き文字の形は、手の動きで決まります。活字を使った場合でも、その手の動きが感じられる書体を作りたいと思います。

西塚さん作成の書体「かづらき」。

西塚さんが作成した題字。

仕上げはパソコンで成形する。



文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書くことの必要性について考えることができましたか。



- その他の文字を扱う仕事
- イラストレーター
 - デザイナー
 - 書家
 - 速記者
 - 校正者
 - など

3年p.74「身のまわりの文字」
▶ 現代社会で活躍する「手書き文字」の達人を取り上げ、文字文化との関わり方を考えます。

「朝のリレー」 谷川俊太郎
この教科書で学ぶ皆さんへ
自分の文字を書き残そう



学習のはじめに

【毛筆】

- 姿勢と構え方
- 大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方
- 筆の運び方
- 用具の扱い方
- 【硬筆】
- 姿勢と構え方／鉛筆の持ち方

基礎編

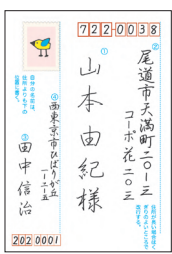


資料編

日常の書式

- ① 便箋と封筒の書き方
 - ② はがきの書き方
 - ③ 時候の挨拶・頭語と結語
 - ④ 送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方
- 書写の広場

- 文房四宝
- 楷書・行書一覧表
- 平仮名・片仮名・数字・アルファベット
- 毛筆補充教材
- 書き初め
- 一年「日進月歩」「輝く生命」
- 二年「燃ゆる思い」「大望を抱く」
- 「温故知新」「平和の鐘」
- 三年「旅立ちの時」「山光澄我心」
- 「書き方を学ぼう」一覧



「やぐら」(独唱) 森山直太郎

編

本

1年

【1】楷書

字形の整え方と筆使い「天地」
点画の種類と筆使い
書いて身につけよう

字形の整え方

(点画の組み立て・部分の組み立て・外形)
活字と手書き文字・筆順

【2】楷書と仮名

仮名の字形と筆使い「いろは歌」
文字の大きさと配列「暑き日を海に入れたり最上川」
書いて身につけよう

文字の変遷

【3】行書

行書の特徴
点画の丸み「名月」
点画の連続「元気」
点画の形や方向の変化「探究」
書いて身につけよう

点画の丸み／点画の連続／点画の形や方向の変化
やってみよう グループ新聞を作ろう



2年

【1】行書

点画の省略「親和」
筆順の変化「紅花」
書いて身につけよう

【2】行書と仮名

行書と仮名の調和「豊かな実り」
行書に調和する仮名「いろは歌」
書いて身につけよう

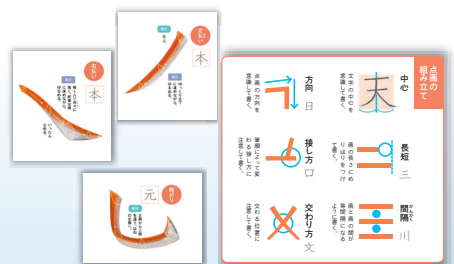
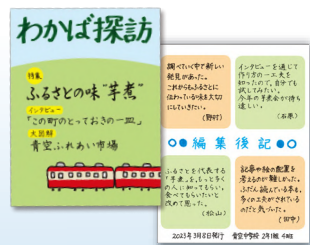
【3】楷書と行書

楷書と行書の使い分け
やってみよう 情報誌を作ろう
部分別行書一覧表

3年

【1】文字文化の豊かさ

身のまわりの文字
やってみよう 名言集を作ろう「未知へと歩む」
書の古典(発展)



書き方を学ぼう
書いて身につけよう
学びを広げる(関連する学習内容)
やってみよう(各学年の学習を生かして書く活動)



◎国語教科書との連携

三省堂国語教科書『現代の国語』と密接に連携しているため、一緒に使っていただくことより効果的な学習ができます。

●表紙と学年色

表紙は、国語と同じイラストレーターが描いています。また、学年色は、国語と同系色を使用し、教材名部分の色で学年を区別できます。

●「書き方を学ぼう」

国語の「読み方を学ぼう」と同様に、「学び方」を身につけることを重視し、書き方のポイントを明確に示しています。他の文字を書くときにも「書き方」を意識できるようにしています。

●学年末教材

各学年末の「やってみよう」は、国語の学年末教材と同じ活動を取り上げ、手書きの作品例を掲載しています。国語で内容を、書写で書き方を学習し、効果的な授業が実現できます。



●「学びを広げる」

1年の「活字と手書き文字・筆順」では、国語と同じ内容・字形例を取り上げて解説しています。

北近
北近

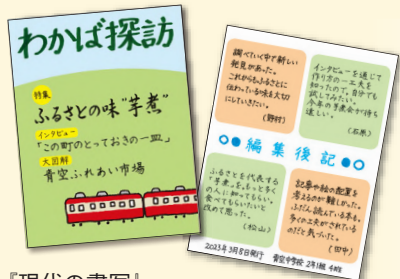
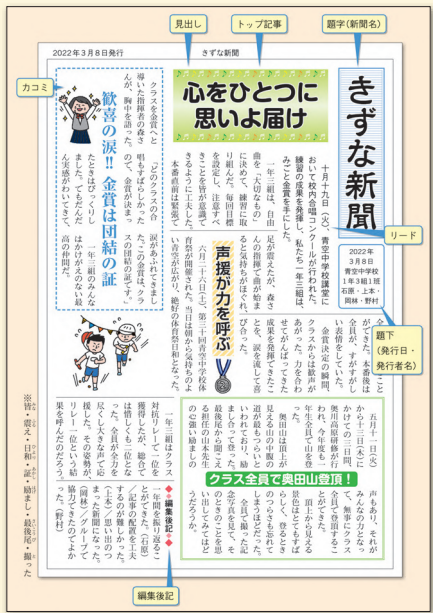
●「書いて身につけよう」の例文

同じ学年の国語で学習する古文の一節を取り上げています。1年では「竹取物語」を、2年では「枕草子」を取り上げ、古文に親しみながら、学んだ書き方を定着させることができます。

●巻頭・巻末の詩

巻頭詩「朝のリレー」は国語1年の冒頭教材と、巻末歌詞「さくら(独唱)」は国語3年の「歌の言葉」と同じ作品を、手書きしたものを掲載しています。

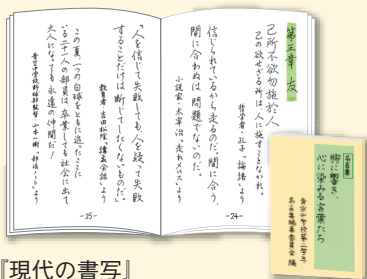
『現代の国語』1年 p.222「グループ新聞」



『現代の書写』2年 p.67「情報誌を作ろう」



『現代の書写』1年 p.49「グループ新聞を作ろう」

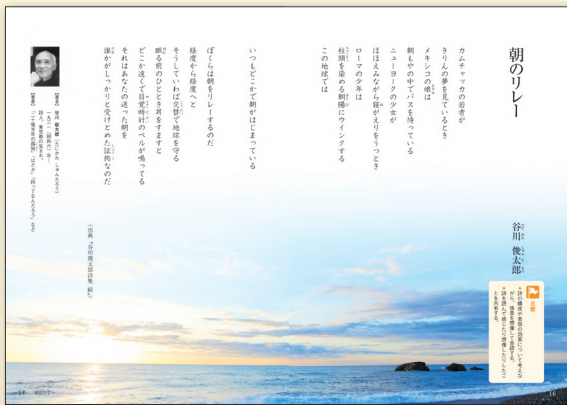


『現代の書写』3年 p.77「名言集を作ろう」

▶書写では、同じ作品を手書きで掲載しています。



『現代の国語』3年 p.206「さくら(独唱)」



『現代の国語』1年 p.16「朝のリレー」

ユニバーサルデザインへの取り組み

令和3年度版『現代の書写 一・二・三』は、
全ての生徒たちが、使いやすく学びやすい教科書です。

特別支援教育

全ての生徒にとって、読みやすく学びやすい教科書となるよう、特別支援教育の専門家による校閲・検証を十分に行っています。

◎重要な項目は目立つように

*学習上重要な項目は大きな文字や目立つフォントで示したり、項目と項目との間には区切り線を引くなど、他の項目との区別を明瞭にしています。



カラーユニバーサルデザイン(CUD)

カラーユニバーサルデザインの専門家の指導と校閲のもと、色覚の特性を考慮して、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫しています。

◎識別しやすい配色

*記号類には、色覚の特性による見え方の差が少ない色を用いています。



◎見開き完結のレイアウト

*各教材を見開き2ページで構成し、何を、どの順番で学習すればよいかがひとめでわかるレイアウトにしています。



造本上の工夫

教科書用紙や製本方式においても、全ての生徒が学びやすくなるよう配慮をしています。

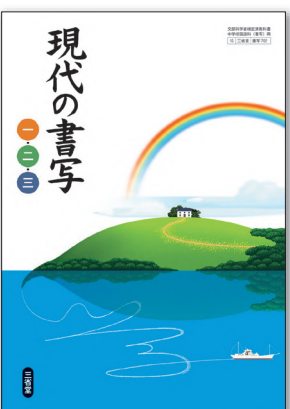
◎効果的な書写学習のための紙質

*豊富に配置された書き込み欄をより効果的に活用できるように、硬筆で書く・消すといった使用に対応できる紙質の用紙を採用しています。



◎製本上の工夫

*針金で3箇所を綴じる製本方式で、3年間にわたる長期使用に十分耐えられるよう配慮しています。



デジタル教科書・指導書・教材のご案内

令和3年度版『現代の書写 一・二・三』を中心としながら、さまざまな学習指導プログラムを提案します。

学習者用デジタル教科書

*紙の教科書と完全同一の内容のデジタル教科書。パソコンやタブレットで、紙の教科書の代わりに使用することができます。教科書紙面、自動読み上げ等、生徒の特性に合った学びやすさを提供します。教科書の二次元コード参照先サイトの動画も再生可能です。

指導者用デジタル教科書（教材）

*教科書を立体的に学べるコンテンツや機能を多数搭載しています。

機能例
教科書紙面、教科書の二次元コード参照先サイトの動画・その他毛筆執筆動画・解説動画等



「ことまな」は三省堂のデジタル教科書・教材・辞書を提供する新しいプラットフォームです。



机と体の間を少しあける。

ウェブサイト

[https://tb.sanseido-publ.co.jp/03gspr/]

三省堂 書写教科書



デジタル教科書

情報誌

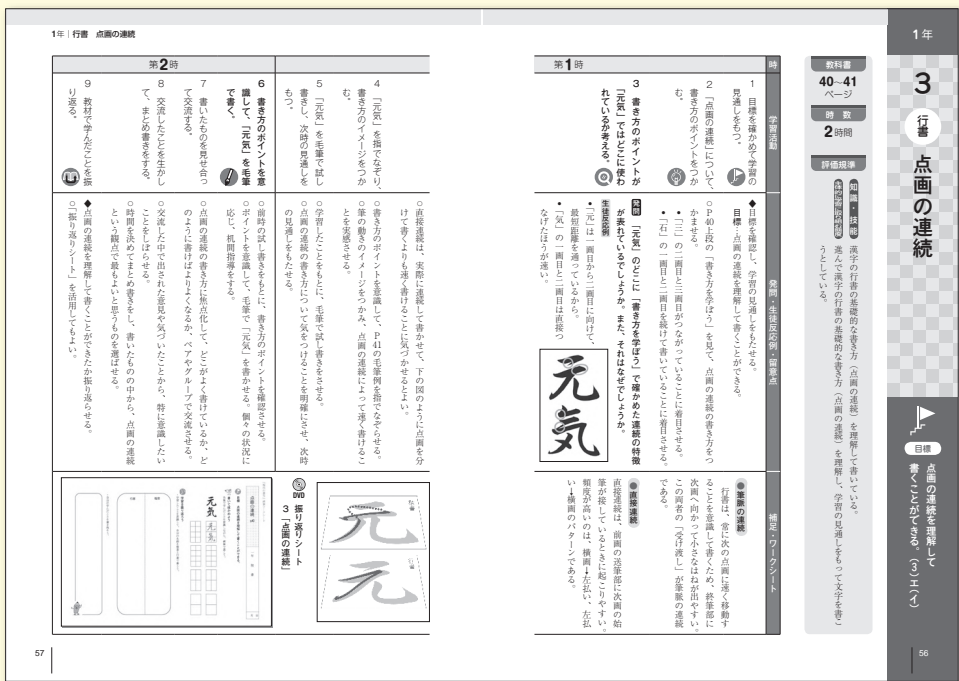
- 『ことばの学び』
- 『教育最前線』
- など



令和3年度版

『現代の書写 一・二・三』

教師用指導書



学習指導書「3学年合冊」

*年間学習指導計画や教材の詳しい解説、標準的な学習指導の展開などを掲載。

朱書編「学習指導書同梱」

*教科書紙面に教材の解説や指導のポイントなどを赤字で付記。

データDVD-ROM「学習指導書同梱」

*年間学習指導計画や、原寸大資料、かご字資料、毛筆補充資料、硬筆ワークシート、参考動画などのデータを収録。

■参考動画ラインナップ

- 【毛筆】** 姿勢と構え方／大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方／筆の運び方／用具の扱い方
【硬筆】 姿勢と構え方／鉛筆の持ち方

- 【本編】** 点画の種類と筆使い／字形の整え方と筆使い／仮名の字形と筆使い／文字の大きさと配列／行書の特徴／点画の丸み／点画の連続／点画の形や方向の変化／点画の省略／筆順の変化／行書と仮名の調和／行書に調和する仮名

- 【資料編】** 書き初め／氏名執筆（小筆）

*指導書・教材類は企画中のため、内容・仕様等について、変更する場合があります。



学習辞書

- 『例解新国語辞典』
- 『例解新漢和辞典』など

ことまなアプリ

- 漢字学習アプリ（無料）
- など



検討の観点と内容の特色

検討の観点	内容の特色	具体例
観点1 教育基本法・学校教育法への対応		
① 教育基本法・学校教育法の理念をふまえた編集上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ● 書写の学習をとおして幅広い知識と教養を身につけるとともに、文字を正しく整えて速く書く力を、国語や他教科、日常生活・社会生活の中で役立てる態度を養えるよう配慮している。 ● 「書いて身につけよう」で日常的に使う言葉を練習したり、「学びを広げる」などで文字文化への認識を深めたりすることによって、社会生活で生きる力を育めるよう配慮している。 	全学年・全教材 「書いて身につけよう」 1年 p.32/2年 p.56 他 「学びを広げる」 1年 p.24/3年 p.80 他
観点2 学習指導要領への対応		
① 基礎的・基本的な知識や技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領の目標と内容がもれなく指導できる教科書になっている。 ● 学習過程の明確化や学習の系統性の重視、言語活動の充実などが図られている。 ● 教科書冒頭に「基礎編」を設け、姿勢や用具の扱い方などを丁寧に解説している。 ● 各教材冒頭に「書き方を学ぼう」を設け、学習のポイントを明確に提示している。 ● 毛筆が硬筆による書写の能力の基礎を養うことをふまえ、毛筆学習のあとには硬筆で確かめる「書いて身につけよう」を設けている。学習内容の定着や、他の文字にも応用できる力がつよう工夫している。 	全学年・全教材 全学年・全教材 「基礎編」p.8-12 「書き方を学ぼう」 1年 p.14/2年 p.50 他 「書いて身につけよう」 1年 p.20/2年 p.54 他
② 「主体的・対話的で深い学び」の実現	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習の見通しをもちやすいよう、教科書冒頭に「学習の流れ」について解説している。 ● 各教材に「目標」「振り返り」を設け、生徒自身が主体的に学習に臨めるようにしている。 ● 各教材の「見つけよう・考えよう」や、学年末教材の「やってみよう」では、生徒どうしの対話をとおして書写の学習を深められるよう工夫している。 	「学習の流れ」p.5 「目標」「振り返り」 1年 p.14/2年 p.50/ 3年 p.72 他 「見つけよう・考えよう」 1年 p.15 他 「やってみよう」 1年 p.48/2年 p.66/ 3年 p.76
③ 社会生活で生きてはたらく力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 「書いて身につけよう」では、日常生活・社会生活で使う言葉や書き方を硬筆で練習し、実践的な力の定着が図れるようにしている。 ● 資料編「日常の書式」では、宛名や伝票の書き方など、生活に必要な書式を提示している。 	「書いて身につけよう」 1年 p.32/2年 p.56 他 「日常の書式」 p.82-89
④ 文字文化への理解	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字の役割や、手書きすることの意義を認識できるよう「学びを広げる」を設けている。 ● 3年の教材では、手書き文字の魅力を伝え広めながら社会で活躍する人物を取り上げることで、文字を手書きすることの意義を認識できるとともに、職業観を養えるよう工夫している。 	「学びを広げる」 1年 p.24, p.34/3年 p.80 他 「身のまわりの文字」 3年 p.74-75
観点3 内容・構成の工夫		
① 全体構成の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導事項・指導内容をバランスよく、適切に配分している。 ● 3学年分の教材を1冊にまとめてあり、3年間の学びを見通した学習ができるとともに、前学年までの学習も含めて随時振り返ることができる。 ● 「基礎編」・「本編」・「資料編」の3部構成となっている。基礎編では小学校までの既習事項を整理し、本編では必修の学習内容を扱っている。資料編「日常の書式」「書写の広場」では、日常生活・社会生活の中で必要となる書式を確認したり、伝統文化に親しむ資料にふれたりすることをおして、幅広い知識を得られるようにしている。 ● 主体的に学べるよう、「教材名」「目標」「振り返り」に学習のねらいを明示している。 	全学年・全教材 全学年・全教材 全学年・全教材 「日常の書式」 p.82-89 「書写の広場」 p.90-128 全学年・全教材
② 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領の五つの指導事項に対してそれぞれ教材を設定し、発達段階に即して系統的に学習できるようにしている。また、毛筆教材のあとには「書いて身につけよう」、各学年末には「やってみよう」があり、学習した内容を他教材や他教科・社会生活で活用できるようにしている。 ● 学習指導要領に示された指導事項を過不足なく扱っており、また、生徒の発達段階に応じ、各学年の配当時数の中で無理なく学習計画が立てられる分量となっている。 ● 書風は、中学生の発達段階に配慮し、書写の学習のポイントをおさえやすいものとなっている。 ● コラムや補充教材が適宜配置されており、教室の実情に合わせて、再確認や更なる向上を目指した指導ができる。 ● 巻末に「資料編」があり、学習場面・社会生活での書写をサポートする例を豊富に示している(手紙・送り状・のし袋・願書・原稿用紙など)。 	「書いて身につけよう」 1年 p.32, p.46/2年 p.56 他 「やってみよう」 1年 p.48/2年 p.66/ 3年 p.76 全学年・全教材 全学年・全教材 全学年・全教材 「資料編」p.82-128

検討の観点	内容の特色	具体例
③ 書写学習内容の設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書全体を通して、学習指導要領に示された教材選定の観点をつまみ、学習意欲を喚起するとともに、確かな書写の力の育成に資する教材を設定している。 ● 「書き方を学ぼう」では、正しく整った読みやすい文字を書くためのポイントを整理し、他の文字にも応用できる力がつよう工夫している。 ● 毛筆で書いて確かめた内容を、「書いて身につけよう」などの豊富な書き込み欄をとおして、ふだんの硬筆の文字に生かすことができるようにしている。 ● 毛筆学習では、朱墨を用いて、穂先の位置や筆脈などが理解できるよう工夫している。 	「書き方を学ぼう」 1年 p.14/2年 p.50 他 「書いて身につけよう」 1年 p.20/2年 p.54 他
④ 生徒の発達段階・学年の特性	<ul style="list-style-type: none"> ● 系統的・段階的に教材を配列し、既習事項を活用しながら、学習を積み重ねられるようにしている。 ● 「書いて身につけよう」で取り上げている言葉は、生徒の学校生活や身のまわりの日常生活から、社会生活へと広がるように配慮して選定している。 	全学年・全教材 「書いて身につけよう」 1年 p.32/2年 p.56
⑤ 自学自習への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 「書き方を学ぼう」では、どこに気をつけて、どのように書けばよいか、という「学び方」をわかりやすく示すことで、学ぶ意義を自覚しつつ、自学で活用できるように工夫している。 	「書き方を学ぼう」 1年 p.14/2年 p.50 他
⑥ 国語・他教科や日常生活との関連	<ul style="list-style-type: none"> ● 各学年末の「やってみよう」に国語との関連教材を配置することで、書写の学習内容を活用できるようにしている。 ● 他教科(数学・理科・社会・英語等)との関連教材を設け、教科横断的な学習ができるよう工夫している。 	「やってみよう」 1年 p.48/2年 p.66/ 3年 p.76
⑦ 小学校書写・高等学校芸術科書道との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 「基礎編」や楷書の教材では、小学校書写での学習内容を確認できるようにしている。 ● 高等学校芸術科書道への興味・関心が広がるよう、3年の教材では発展的な内容を取り上げている。 	「基礎編」p.8-12 「やってみよう」3年 p.76 「学びを広げる」3年 p.80
⑧ 教育のICT化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 「基礎編」では、書写の学習に役立つ動画資料として、デジタルコンテンツを提供している。教科書に掲載している二次元コードを読み取ることで、硬筆・毛筆の姿勢や持ち方、筆の運び方、用具の扱い方など基礎的な内容を確認できるようにしている。 	「基礎編(二次元コード)」 p.8, 10, 12
観点4 使用上の配慮		
① 特別支援教育についての配慮・工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別支援教育の専門家による校閲を受け、全ての生徒にとって学びやすいよう、学習の要点がひとめでわかるレイアウト、読みやすい文体や改行などの工夫をしている。 ● 「目標」「書き方を学ぼう」「見つけよう・考えよう」「毛筆で書こう」「学習を振り返ろう」「書いて身につけよう」「振り返ろう」など、アイコンを配置し、学習活動の内容や流れが直感的に捉えられるよう工夫している。 ● 文字の解説図版は、朱墨を使った2色使いや、筆の移動を示すマークなどを用いることで、視覚的に理解できるよう工夫している。 	全学年・全教材
② カラーユニバーサルデザインについての配慮・工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● カラーユニバーサルデザインの専門家による校閲を受け、全ての生徒にとって見やすく、学びやすい配色となっている。 ● 色による区別に加えて、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設けている。 ● 色の濃淡や罫線の使い分けなどの工夫を凝らし、情報を整理しやすくしている。 	全学年・全教材
③ 文章表現・用語・記号・図解など	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒が意欲をもって学習を進められるよう、わかりやすい用語・表現を用いている。 	全学年・全教材
④ 書体・文字の大きさ・字間・行間など	<ul style="list-style-type: none"> ● 読みやすさ、学びやすさを追求して開発した、独自の明朝体・ゴシック体を使用している。 ● 文字の大きさと書体を適宜使い分け、情報が整理しやすく、学習しやすいよう工夫している。 ● 字間・行間は、生徒の発達段階や可読性に配慮し、読みやすく学びやすいレイアウトとなっている。 	全学年・全教材
⑤ 挿絵・図版・写真など	<ul style="list-style-type: none"> ● 挿絵・図版を適所に配置して、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えている。 ● 表紙は、明るくさわやかな印象で、親しみやすいものとなっている。 ● 学習をサポートする役割をもったキャラクターを用い、知識・技能の理解や習得をスムーズに行えるよう工夫している。キャラクターの男女バランスにも配慮している。 	全学年・全教材
⑥ 印刷・装丁・造本など	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字・図版・写真などの印刷が、鮮明でわかりやすくなっている。 ● 紙面は落ち着いた色合いを基調にしており、学びに集中しやすくなっている。 ● 学習の利便性に配慮し、書き込み欄を豊富に配置している。 ● 用紙は、硬筆で書く・消すといった使用に対応できる紙質のものを採用している。 ● 針金で3箇所を綴じる製本方式で、長期の使用に耐えられるよう配慮している。 ● 表紙はビニール加工を施し、墨を使っても汚れにくいよう配慮している。 ● 環境にやさしい用紙と植物油インキを用いている。 	全学年・全教材

●編集委員

中洩正堯 兵庫教育大学名誉教授
紅林定宏 学校法人法城学園
小西憲一 香川大学
小林比出代 信州大学
谷口邦彦 安田女子大学
新田直美 安田学園安田小学校
三浦和尚 愛媛大学
株式会社 三省堂

●執筆協力

佐藤英樹 早稲田大学高等学院

●編集協力委員

神部秀一 東京未来大学
中條敦仁 皇學館大学
溝上慎一 桐蔭学園
村田美和 高崎健康福祉大学
米田謙三 関西学院千里国際高等部

●校閲

[特別支援教育] 笹森洋樹 国立特別支援教育総合研究所
[カラーユニバーサルデザイン] 溝上陽子 千葉大学

令和3年度版中学校書写教科書ウェブサイト

<https://tb.sanseido-publ.co.jp/03gspr/>

*この資料の内容に加え、編修趣意書や年間学習指導計画作成資料など、さまざまな情報を掲載しております。



三省堂

〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14
☎03-3230-9411 (編集)・9556 (営業)

- 大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3
☎06-6341-2177
- 名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2階
☎052-953-9211
- 九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1
☎092-531-1531
- 札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3階
☎011-616-8722